

# 緑のセンターだより

No.286 令和5年1月1日発行

発行元：(公財)札幌市公園緑化協会 豊平公園緑のセンター

## エゾエンゴサク

ケシ科 キケマン属

*Corydalis fumariifolia* subsp. *azurea*  
(*Corydalis ambigua*)

早春の樹木が新芽を出す前の、林内に明るい日射しがまだ差し込んでいる頃に郊外の山林に入ると、樹林が開けた沿道やその奥で群生して淡い青紫の花を咲かせるエゾエンゴサクを見かけます。どういう訳か、その傍らにカタクリの花も一緒に咲いていることが多いようです。

5月下旬～6月に樹林内の夏草が芽生えて草丈が伸び出してくると、カタクリやエゾエンゴサクなどは、成長が旺盛な草花に覆われてひっそりと姿を隠してしまいます。しかし、春早くに花を咲かせるこれらの植物は、その頃には早々にタネをつけて今季の成長を終えようとしています。そして、来春までの長い休眠に入ります。このように他の植物が生育期を迎える頃には地上部の生活を終え、地下部でひっそりと次の年まで休む植物を西洋では「スプリング エフェメラル（春のはかない命）」と呼んでいます。

エゾエンゴサクは草丈が10～25cmの小柄な植物で、花は地際から20cm前後の花茎を伸ばし、その先に数個～十数個の花をつけます。個々の花はサルビアの花の形状に似ていて、2cm程の筒状で、その先に唇状の花弁が受け口を思わせるように開いています。花色は一見淡い青紫に見えますが、よく見ると1株毎に白・淡青から濃紫まで幅があります。

この可憐な花を咲かせるエゾエンゴサクの地下深くには径2cm前後の小さな球根（塊茎）があります。アイヌの人たちはこれを茹でて干し、貯蔵して必要に応じて再度湯で戻して食べたそうです。ちなみに、地上部の花や茎葉もさっと茹でておひたしにして食べられるとのこと。ただ、ムラサキケマンなど有毒植物で似たものがあるので注意が必要です。

エゾエンゴサクは札幌近郊の山林内で普通に咲いていますが、身近なところでは、豊平公園の野草園の一面に4月下旬～5月上旬にカタクリと一緒に群生して咲いているのを見ることができます。雪が溶けて柔らかい日射しが心地よい季節を迎えたら、野幌森林公園や真駒内公園、平岡公園など自然林のある大きな公園でエゾエンゴサクに出会ってみませんか。

参考文献：「園芸植物大辞典」小学館 「新北海道の花」北海道大学図書刊行会 「日本の野草」山と溪谷社  
「日本の野生植物」平凡社 「新版 北海道山菜図鑑」亜細亜社 他



個体により淡青～紫色の花が咲く ↑



豊平公園の野草園ではエゾエンゴサクとカタクリを同時に見ることができる

# 1月の園芸作業

ここに記載した以外の作業も沢山ありますので  
ご不明な点は緑の相談までお気軽にお問合せください。

緑の相談受付 10:00～12:00 13:00～16:00

★豊平公園 811-9370 月曜以外毎日（月祝日の場合は、翌平日が休み）

※12/29～1/3 は年末年始のため休館します。

※平岡樹芸センター・百合が原公園は冬期間相談受付していません。

|      |          | 作業時期        |    |    | 作業内容                                                                                                   |
|------|----------|-------------|----|----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|      |          | 上旬          | 中旬 | 下旬 |                                                                                                        |
| 屋外園芸 | 庭木・花木・果樹 | 雪害からの保護     |    |    | 冬囲いの補強と点検、樹冠や枝の雪落としを継続し、枝折れを防止する(特にアカマツ、クロマツ)。道路際の生垣や庭周りの小低木は、除雪や落雪による損傷に注意。枝折れなどが発生した際は、損傷部の修復を早めに行う。 |
|      | 盆栽       | 花後管理        |    |    | 松竹梅の寄せ植えなどは、観賞後早めに個別に分けて5℃前後で管理するか、地面まで雪を掘って鉢のまま雪をかぶせておく。                                              |
| 室内園芸 | 鉢花       | 温度管理        |    |    | シクラメン、アザレア、プリムラ類等は10℃～20℃の日当たりの良い窓辺に置いて管理する。鉢花は環境の変化を嫌うので、こまめな移動は避ける。                                  |
|      |          | 水やり         |    |    | 日にちを決めず鉢の重さを確かめて与える。受け皿の残り水は捨てる。                                                                       |
|      |          | 施肥          |    |    | シクラメン、プリムラ類、ペゴニア類など開花を続ける鉢は薄めの液肥を与える。                                                                  |
|      |          | 病害虫防除       |    |    | ウドンコ病、灰色カビ病、カイガラムシ、ハダニ、アブラムシ等の早期発見と防除                                                                  |
|      | 野菜       | スプラウト作りを楽しむ |    |    | マメ類、ソバ、麦、大根など。                                                                                         |
|      |          | 保存野菜点検      |    |    | 先月に続き保存野菜類の状態点検。取り出した後の再格納はしっかりと。                                                                      |
|      | 洋ラン      | 温度管理        |    |    | シンビジウム、デンドロビウムなど比較的低温性の株は10～20℃の明るい場所。コチョウランなどは18～25℃で管理する。                                            |
|      |          | 水やり         |    |    | 生育最低温度が保てる場合、鉢が軽くなり植込資材乾いたら充分与える。デンドロビウムに花芽がついている場合は、控えていた水やりを少しづつ増やす。                                 |
|      |          | 施肥          |    |    | 成長を続ける種類は液肥を与え、シースや蕾の出ている株には与えない。                                                                      |
|      | 多肉植物     | 温度管理        |    |    | 花後のシャコバサボテン・カランコエなどは、10℃位の明るい場所で管理                                                                     |
|      |          | 水やり         |    |    | アロエ、クラッスラ等は灌水を控える。冬型種(アエオニウム、リトープス等)は用土が乾いたら灌水                                                         |
|      | 観葉植物     | 水やり         |    |    | 鉢を持ちあげて軽く感じたら充分に灌水。                                                                                    |
|      |          | 施肥          |    |    | 成長を続ける鉢(ボトス、オリヅルランなど)は、月1～2回、夏より薄い液肥を与える。成長しない鉢には与えない。                                                 |
|      |          | 病害虫防除       |    |    | カイガラムシ、ハダニ、アブラムシ等の発生に注意。早期発見、早期防除が肝要                                                                   |

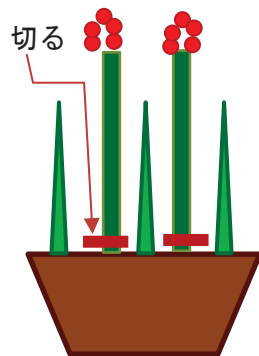


**Q センリョウの鉢花を12月に購入して居間に飾っています。その後の冬場の管理と来年も実をつけるにはどのような点に注意して育てればよいのでしょうか？**

**A** センリョウは東アジアの熱帯から暖帯に生育する植物ですので寒さを嫌います。しかし、北海道の住宅は冬でも暖かく、センリョウをそのままりビングなどに置いておくと軟弱に育ってしまうので、冬場は5℃を下回らない涼しく明るい場所に置きましょう。水やりは鉢が軽くなって鉢土の水分が少なくなったらしっかり与えてください。

4月以降暖かくなったら、弱く伸びすぎた枝がある場合は整枝を行い、枝が混み合っていたら実のついた枝を地際から切ります。鉢に株が一杯になったら一回り大きい鉢に植え替えて鉢増しするか、株分けするか根土を落として同じサイズの鉢に鉢替えをしてください。5月中下旬以降、霜が降りなくなったら屋外で管理することができ、木漏れ日の当たる樹の下に置るか、寒冷紗等の下に置いて直射日光は避けてください。屋内ではカーテン越しなど明るい場所で管理します。その前後から地際から新芽が伸び出てきます。鉢花のセンリョウは花が咲いても実がなりにくいので、7～8月の開花期には雨が当たらないように注意し、綿棒や筆で花を撫でてやる人工授粉を行うと実つきが良くなります。

また、センリョウは元々日陰に育つ植物なので鉢を乾燥させると株を弱らせ、肥料を与えると花つきが悪くなるので注意が必要です。



混んだら実のついた枝を株元から切る。新梢は次の花芽を先端につけるので残す。全体の強剪定は株が弱るので×

## 展示会情報

### 豊平公園

#### アザレア展

1/31 (火) ~2/12 (日)



## 新春の花々



緑のセンターアトリウムでは例年この時期にドンベヤがピンク色の花を咲かせます。アフリカマダガスカル原産の低木でアジサイをさかさまにしたような花姿は愛らしく甘い蜜の香りが漂います。

そのほか約30品種のツバキや鉢植えのチューリップを展示して新しい春を迎えます。

新春の喜びに満ちた緑のセンターへぜひお立ち寄りください。



〒062-0905  
豊平区豊平5条13丁目  
TEL 011-811-6568

地下鉄東豊線  
「豊平公園」駅下車  
1番出口徒歩1分

## 白い季節に彩りを



シンビジウム トラシアナム



クリスマスローズ

百合が原緑のセンターでは、日本に初めて持ち込まれた洋ランと言われるシンビジウム トラシアナム（ラン科シュンラン属）など、美しい大輪の花を株いっぱいに咲かせる大鉢のシンビジウムや、花形や色、模様が豊富なクリスマスローズ、日々色づいていく柑橘系の植物や鉢物のウメなど、新たな年の始まりから彩りが溢れます。



〒002-8082  
北区百合が原公園210  
TEL 011-772-3511

JR学園都市線  
「百合が原」駅下車  
徒歩7~10分

百合が原公園

## 展示会情報

### 百合が原公園

#### 市民ラン展

～市民参加のランの展示会～

1/24 (火) ~1/29 (日) ※最終日は15時まで



#### 福寿草と雪割草展

～春を告げる雪国の妖精たち～

1/31 (火) ~2/12 (日)



## イベント情報（1月～2月）



百合が原公園

☎ (011)772-3511  
<https://yuri-park.jp/>

| 【講習会】      | 開催日      | 時間          | 教材費  | 定員  | 申込       |
|------------|----------|-------------|------|-----|----------|
| スノーキャンドル製作 | 1月14日(土) | 14:00～16:00 | 無料   | なし  | 不要       |
| 洋ランの育て方    | 1月29日(日) | 13:00～14:30 | 130円 | 10名 | 1/12(木)～ |

### 冬のまちに スノーキャンドルの灯りをともそう！2023

「NPO法人公園ねっとわーく」より2003年から呼びかけを行い今年で20年目となりました。押し葉やドライフラワーのアイスボードやアイスキャンドルの灯りで幻想的な風景が広がります。

in  
**百合が原公園**  
**1/14（土）点灯 16:30～**  
 会場 緑のセンター入り口前



in  
**豊平公園**  
**1/21（土）点灯 16:30～**  
 会場 緑のセンター入り口前

in  
**樹芸センター**  
**1/28（土）点灯 16:00～**  
 会場 みどりーむ駐車場  
 ※駐車スペースはありません



※詳細は各公園へお問い合わせください（樹芸センターは冬期休園のため豊平公園受付窓口へ）